

JSS F4 Scholarship Report



JSSスカラシップドライバー(S-FJからF4へのスカラシップ)牧野任祐選手の参戦レポート

2015年JAF地方選手権F4西日本シリーズ 第3戦 第4戦
大会名 2015 岡山チャレンジカップレース
開催日 2015年 7月26日
開催場所 岡山国際サーキット
参加台数 12台

F4西日本シリーズの第3戦と第4戦は同日開催の2レース制で開催された。参加台数は第2戦同様の12台だが、河野選手に代わって特認Aライセンスを獲得した16才の阪口晴南(せな)選手が初参加となる。カートで素晴らしい実績を誇る阪口晴南選手が注目される。

F4東日本シリーズを全勝でチャンピオンを獲得し、このF4西日本シリーズのチャンピオンも、この2レースの成績で決まる可能性のあるJSSスカラシップドライバーの牧野任祐選手との競合や、これまでS-FJで活躍した各ドライバー、それにF4ベテランドライバー達の活躍など、F4西日本シリーズは、より充実した内容となってきている。

■公式予選 第3戦 1位 第4戦 1位 7月26日 8:25~8:40 晴れ/ドライ

8時25分から15分間の予選が開始されたが、今回は2レース制の為、予選ではベストタイムが第3戦のグリッド、セカンドベストが第4戦のグリッドとなる。

牧野選手はコースインすると、いつものように数周をかけ、ゆっくりとタイヤに熱入れを行う。先にアタックに入った金井選手、片山選手が好タイムを出している。そして牧野選手がアタックに入るとタイミングモニターの一番上に飛び込む、いつもなら、もうワンアタックでタイムアタックを終えるところだが2レース制の予選なので連続でアタックしタイムを更新する、一旦ペースダウンしてタイヤ冷やすと最後のアタックに、セクター1、セクター2共に全体ベストで走る、しかしセクター3で前の車に追いついてしまったが、それでもベストタイムを記録した。こうして第3戦、第4戦共に他を引き離しポールポジションを獲得した。2位以下は、阪口、金井、片山選手が両予選共に続いた。

第3戦 予選 出走12台

Pos	No	Cls	Driver	Type	Team/Car Name	Time
1	11	A1	牧野 任祐	KK-ZS	DODIE・制動屋・ルーニー・MIST・JSS	1'30.806
2	5	A1	阪口 晴南	KK-ZS	サムテック丸三ミスト戸田パワー	1'31.880
3	72	C	金井 亮忠	NATS001	チーム NATS・正義 001	1'32.228
4	28	C	片山 義章	ZAP F108	Team EAGLE	1'32.264
5	12	A1	太田 達也	KK-ZS	佐藤製作所ミスト KK-ZS 制動屋	1'32.978
6	3	C	今井 龍太	RK01	B-MAX・PARABOLE エンドレス	1'33.044

第4戦 予選 出走12台

Pos	No	Cls	Driver	Type	Team/Car Name	Time
1	11	A1	牧野 任祐	KK-ZS	DODIE・制動屋・ルーニー・MIST・JSS	1'30.933
2	5	A1	阪口 晴南	KK-ZS	サムテック丸三ミスト戸田パワー	1'31.883
3	72	C	金井 亮忠	NATS001	チーム NATS・正義 001	1'32.261
4	28	C	片山 義章	ZAP F108	Team EAGLE	1'32.471
5	3	C	今井 龍太	RK01	B-MAX・PARABOLE エンドレス	1'33.054
6	12	A1	太田 達也	KK-ZS	佐藤製作所ミスト KK-ZS 制動屋	1'33.339

■第3戦決勝レース 優勝 11:13 スタート 晴れ/ドライ

第3戦は午前中のレースで11時過ぎにスタートが切られた。これまでスタートでは後ろに回りがちな牧野選手だが、今回はスタートを決めて先頭で1コーナーに飛び込んで行くと2位以下もほぼ予選とおりの順序でレースに入って行った。牧野選手は最初から飛ばして2位阪口選手とのギャップを築く、阪口選手の後方では3位の金井選手と片山選手が接近戦を繰り広げ、太田選手と今井選手も5位争いをしている。そしてレース中盤、ついに片山選手が金井選手を捕えて3位に上がった。ホールショットを決めた牧野選手は阪口選手に接近されることなく引き離して、約5秒の大差をつけて15週のレースを終えた。2位は F4初レースの阪口選手、3位には、このサーキットをホームコースとする片山選手が表彰台をゲットした。

第3戦 決勝

Pos	No	Cls	Driver	Type	Team/Car Name	Lap	Time
1	11	A1	牧野 任祐	KK-ZS	DODIE・制動屋・ルーニー・MIST・JSS	15	23'23.043
2	5	A1	阪口 晴南	KK-ZS	サムテック丸三ミスト戸田パワー	15	23'28.133
3	28	C	片山 義章	ZAP F108	Team EAGLE	15	23'33.286
4	72	C	金井 亮忠	NATS001	チーム NATS・正義 001	15	23'40.022
5	12	A1	太田 達也	KK-ZS	佐藤製作所ミスト KK-ZS 制動屋	15	23'45.607
6	3	C	今井 龍太	RK01	B-MAX・PARABOLE エンドレス	15	23'46.087

■第4戦決勝レース 優勝 15:53 スタート 晴れ/ドライ

第4戦は16時前にスタートが切られた。このレースも牧野選手は好スタートを決めて先頭のまま1コーナーに、そして予選3位の金井選手は予選2位の阪口選手をスタートで下して2番手で1コーナーに入っていく。3位に順位を落とした阪口選手だが、1周目のヘアピンで金井選手を交わして2位に順位を戻した。第3戦で3位を獲得した片山選手はエンジントラブルで戦列を離れる。そして3周目には今井選手が2コーナーでコースアウトしてしまうが、その後、回収のため数ラップ渡りイエローフラッグが提示される。また善戦していた藤井選手も電気系のトラブルでレースを離れた。こうした背後での動きとは別に、先頭を走る牧野選手は完全に単独でレースをリードするが、牧野選手はイエローフラッグ時以外は単独でもフルプッシュを続けていた。タイヤを新しくした第4戦ではレースタイムを第3戦より10秒も削り、また2位以下に10秒近い差をつけてブチギリでの優勝を飾ると共に、F4西日本シリーズのチャンピオンを確定した。2位には第3戦同様に阪口選手が、3位には金井選手が入った。

第4戦 決勝

Pos	No	Cls	Driver	Type	Team/Car Name	Lap	Time
1	11	A1	牧野 任祐	KK-ZS	DODIE・制動屋・ルーニー・MIST・JSS	15	23'12.005
2	5	A1	阪口 晴南	KK-ZS	サムテック丸三ミスト戸田パワー	15	23'21.843
3	72	C	金井 亮忠	NATS001	チーム NATS・正義 001	15	23'32.160
4	12	A1	太田 達也	KK-ZS	佐藤製作所ミスト KK-ZS 制動屋	15	23'38.344
5	43	C	村瀬 光太	R&D 10W	E-NEED☆テイクファースト 10W	15	24'22.119
6	7	A2	山岸 洋之	MC090	イーグルスポーツ☆MYN☆ウエスト 056	15	24'23.048

PS：JSSスカラシップをご声援頂いている皆様

今年のJSSスカラシップドライバー、牧野任祐選手はJAF F4西日本シリーズのチャンピオンを獲得しました。ご声援ありがとうございます。

おかげさまで近年JSSスカラシップドライバーは、その後めざましい活躍をしています。

- ・2011年のJSSスカラシップ生、平川 亮選手はスーパーフォーミュラ、スーパーGT等、今や日本のトップドライバーの仲間入りをしています。
- ・2013年のJSSスカラシップ生、山下 健太選手はトムスのF3ドライバーとして、現在チャンピオンシップをリードしています。
- ・他にも、各カテゴリーで活躍するドライバーを多く輩出しています。

まだ、今年のレースを残している牧野選手ですが、将来を嘱望される牧野選手が精一杯走る姿をご覧頂き、今後共ご声援下さい。